

令和2年度 学校経営グランドデザインについて（補足）

流山市立西初石中学校 校長 浦沢雄一

はじめに

学校は、生徒にかかわるすべての人々・機関・組織の力を集め、生徒を育てる責任が生徒及び社会に対してある。我々の行動基準は「生徒」であり、結果は「生徒の姿」である。

1 ミッション（使命）

＊県及び市の「学校教育指導の指針」及び保護者・地域の願いをもとにして設定した。

＊「生きる力」ととらえることもできる。

2 6つの育てる資質・能力

育てる資質・能力 ＝ 「未来を切り拓くために必要な力」

＊本校のすべての教育活動は、この力を身につけさせることを目標として行う。

＊明治以来の「知育」「徳育」「体育」という日本式教育がある。しかし、それぞれが縦割りとなり、関連が希薄となり、予想しがたい未来を生きる子供たちを育成するには、捉え方を改めるべきではないかと昨今言われている。いわゆる「21世紀型能力」の育成という視点が求められている。新学習指導要領完全実施前年にあたり、今一度確認していきたいことである。（別紙参照）

＊本校では、6つの資質・能力を設定した。

＊内省的思考をもとに（自分の考えや行動を振り返り、これからの自分の在り方を考えようとする思考・メタ認知）自らの成長を図る態度を育てる。

3 学校教育目標

学校教育目標 ＝ 西初石中学校の生徒として身につけたい態度
「自立 貢献」

（1）設定理由

- ・発達段階から社会的に求められていることから。
- ・学校外とのかかわりの中で生きる力を育てることが、社会的に求められているから。
- ・本校の課題として「主体性の育成」や「他とかかわる力の育成」があるから。

（2）発達段階の姿

初等教育 ： 社会的態度、文化を大人から教えられ、支援の下、遂行する。（守）

【目指す姿】 習得 社会化

前期中等教育：教えられたことを自分なりに解釈し、内発的に自分のものとし、主体的に社会を構成していく。（破）

【目指す姿】 自立 貢献

後期中等教育：今までの教え、学びを総合し、新たな創造を行うとともに、次世代へのモデルとなる。（離）

【目指す姿】 創造 独自性 継承

4 職員の姿

生徒を変えたければ、職員が変わる。

「自立 貢献」できる生徒は、「自立 貢献」している職員から育つ。

「挨拶」できる生徒は、「挨拶」できる職員から育つ。

5 本校の課題

学校評価から見える本校の課題

- ・「探究力」

＝課題を見出し、考え、判断し、解決する力

- ・「情報活用能力」

＝課題解決のために、知識や情報を活用し、論理的に考える力

職員の観察から見える本校の課題

- ・本音を語れる人間関係づくり

＝弱い部分も含めた思いを伝えあい、聴きあい、認めあえる安心感のある人間関係（学びや生活の安心基盤づくり）

6 学校教育目標達成のための3つの重点目標

（1）授業改善

（2）地域学校協働本部、異校種等との連携

（3）学校組織による取組の徹底と広報

すべての教育活動において、上の重点目標の達成を目指す。

7 3つのプロジェクト

「職員の主体的取組」「柔軟な組織活動」「一人一人の積極的な学校運営への参画」を期待している。

8 中期目標・短期目標

- ・具体的な姿を示し、地域社会からの理解を生む。

- ・具体的な目標からPDCAサイクルを機能させ、確実に生徒を育てる。